取扱説明書

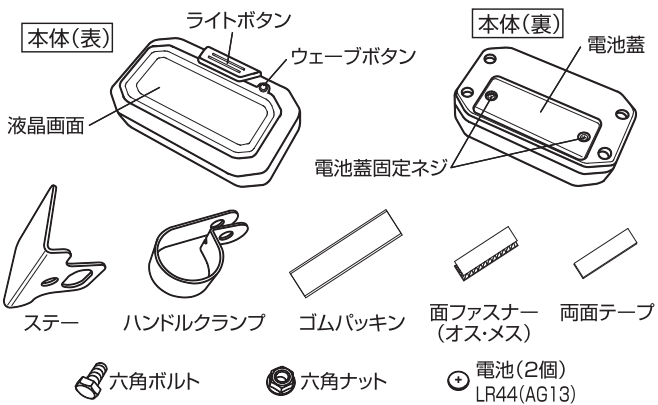
コンパクト・電波・クロック
　71808-00■ブラック
　71809-00□チタンカラー

＊取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
＊この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
＊この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。
＊取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
＊商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。
＊走行中のボタン操作は危険ですので、絶対に行わないでください。

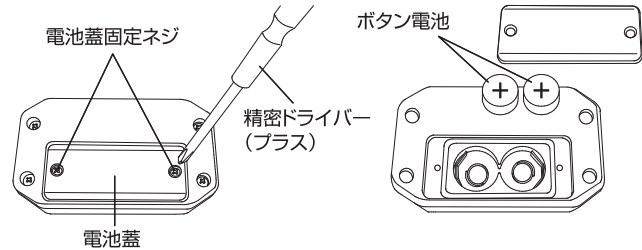
適合：ハンドルバーの直径25.4mm、22.2mm
　　　ミラーのネジ径8mm、10mm

1.製品仕様

●受信電波　　：標準電波（JJY）
●受信周波数　：福島局（40kHz）
　　　　　　　　九州局（60kHz）
●自動受信　　：1日3回
　　　　　　　　通常AM2:00,AM3:00,AM4:00
　　　　　　　　（AM2:00に未受信の場合、AM3:00,AM4:00に再受信）
●使用電池　　：アルカリボタン電池LR44（AG13）2個
●電池寿命　　：約1年　※操作状況により異なります。
●作動温度範囲：-20℃〜70℃
●表示内容　　：月日・時・分・秒・電波受信状況
●時刻表示　　：12時間制表示（AM・PM表示付）
※日本の標準時刻電波のみ受信可能です。
※手動にて日付・時刻を合わせることはできません。

2.各部の名称と部品構成

3.液晶表示の説明

4.電池の入れ方と交換方法

1.時計の裏側の電池蓋固定ネジ2本をプラスの精密ドライバーを使用して取り外し、電池蓋を取り外してください。
2.電池（LR44）2個を図のように＋側が上になるように入れ、電池蓋を元のように取り付けます。
　※ネジを締め過ぎますとネジ山が破損します。また、締め付けが足りないと防水性が損なわれます。ご注意ください。

⚠警告
・時計本体が濡れている時は、電池の交換を行わないでください。
・濡れた手で電池交換を行わないでください。

⚠注意
・電池の極性を正しく入れてください。
・長期間使用しない場合や使い終わった電池は時計から取り外しておいてください。
・指定以外の電池は使用しないでください。
・電池蓋を取り付ける際は、防水ゴムパッキンのズレが無いことを確認してください。

5.操作方法

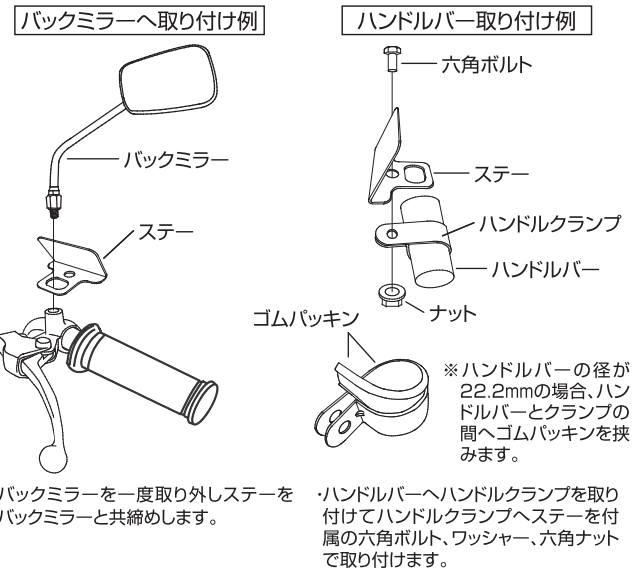
・ライトボタンを押すとELバックライトが約3秒間点灯します。
・ウェーブボタンを押すと時刻に関わらず強制的に電波受信を開始します。（6.受信機能参照）

⚠注意
・電波を受信しない場合は、その場所での受信状況が悪いので向きを変えるか場所の移動をしてください。

6.受信機能

・自動受信：自動受信は1日に下記の時刻に受信機能が自動的に作動し受信を開始します。
　AM2:00、AM3:00、AM4:00の3回
　※AM2:00に受信できなかった場合AM3:00、AM4:00に再度自動受信を行います。AM2:00に受信が成功したらAM3:00、AM4:00の自動受信は行われません。
・強制受信：ウェーブボタンを**約2秒間**押すと、液晶画面に40kまたは60kが表示され強制受信が行われます。強制受信中に再度ウェーブボタンを約2秒押すごとに強制受信解除と受信周波数40kと60kの切り替えが可能です。（受信周波数を変更したい場合）
・周波数（40k、60k）の切り替えは、ボタン操作で切り替えをしなくても電波が受信できない状況が約8分間続くと自動的に周波数の切り替えを行います。
・電波受信が成功しますと📶マークが表示されます。受信状態であっても電波が弱い場合や電波サーチ中は📶マークが点滅状態になります。📶が点灯状態にならない場合はその場所での電波受信状態が悪いので向きや場所を移動してください。

⚠注意
・電波受信は地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯（昼/夜）などによって変わります。1〜2週間程度様子をみることをお勧めします。

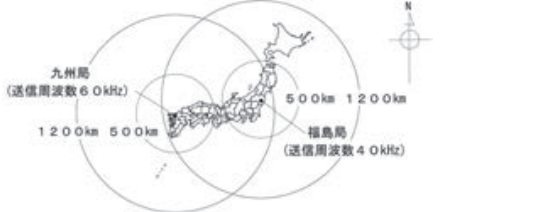
7.取り付け方法

・バックミラーを一度取り外しステーをバックミラーと共締めします。
・ハンドルバーへハンドルクランプを取り付けてハンドルクランプへステーを付属の六角ボルト、ワッシャー、六角ナットで取り付けます。

・ステーに付属の面ファスナーまたは両面テープで時計本体を固定します。

8.電波時計について

・電波時計とは
　正確な時刻情報（日本標準時）をのせた長波標準電波（JJY）を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。
　日本標準時：日本の時刻のもととなるもので、テレビの時報などに利用されています。この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」などにより制御されています。

⚠注意
・電波時計は正確な日本標準時を受信しておりますが、時計内部の時刻演算処理などにより、時刻表示に1秒未満のずれが生じます。

・標準電波
　標準電波は独立行政法人情報通信研究機構（NICT）が運営しており、福島県の「おおたかどや山」（40kHz）および佐賀県と福岡県の境の「はがね山」（60kHz）から送信されています。この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策などで一時送信が中断されることもあります。
・電波の受信範囲の目安

　条件の良い時は、送信所からおよそ1,200km離れた場所でも受信することが可能です。

⚠注意
・約500kmを超えると電波が弱くなるので、受信しにくくなることがあります。
・受信範囲以内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯（昼/夜）などによって受信できないことがあります。
・電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。
・一般的に送信所からの距離が近い方の電波が受信しやすいと考えられますが、電波環境や使用場所によっては、送信所からの距離が遠い方の電波が受信しやすい場合があります。

・使用場所について
　本製品は、テレビやラジオと同様に、電波を受信するものです。本製品を使用する時は、「電波を受けやすい」場所でご使用することをお勧めします。以下のような場所では、電波を受信しにくくなりますので、このような場所は避けてご使用ください。
　●マンションやビルなどの鉄筋、鉄骨の建物の中およびその周辺（ビルの谷間など）●高圧線、架線の近く●自動車などの乗り物の中や移動中の乗り物（二輪車も含む）●家庭電化製品、OA機器のそば、金属の上（テレビ、スピーカー、パソコン、携帯電話など）●電波障害が起きるところ（工事現場、空港のそば、交通量が多いところなど）●山の裏側など

9.使用上の注意

・走行中のボタン操作は危険ですので、絶対に行わないでください。
・運転に支障のない場所へ設置してください。
・真夏の炎天下など液晶部分が60℃以上になると表示が黒くなることがありますが、冷めると戻ります。故障ではありませんので予めご了承ください。
・完全防水ではありません。洗車時に直接ホースなどで水圧をかけないでください。
・ガソリンやオイル、ワックス等の薬品が付着すると変色、変形の原因となります。
・加工や分解はしないでください。（保証対象外となります）
・日本国内以外ではご使用できません。
・本製品は、当社保証書規定により品質の保証をいたします。保証期間中に故障した場合は必ず保証書を現品に添えてお買い上げの販売店または当社までお申し付けください。